

社会福祉法人小鹿野福祉会

令和7年度事業方針

- ① 外国人人材及び新任職員等の指導育成体制の見直しと再構築。
- ② 事業所間・職種間連携体制の見直しと再構築。
- ③ 業務の見直し・効率化及び業務分担の見える化の推進。
- ④ 加算要件の再確認及び算定可能な加算算定による収入増への取組。

(1) 人権の尊重

- ① 利用者の自己決定と選択の尊重に努めます。
- ② 苦情解決・相談体制の見直しを図ります。
- ③ 身体拘束及び虐待防止の取り組みを推進します。
- ④ 職員に対する倫理教育の強化に努めます。
- ⑤ 認知症の理解及びケアの専門性の向上を図り、人権の尊重、尊厳の確保に努めます。
- ⑥ 利用者、家族の思いに寄り添った終末期のケアが提供できるよう、職種間の連携強化に努めます。
- ⑦ 障がいへの基本理解を深め、適切な関係が築けるように努めます。

(2) サービスの質の向上及び効率化

- ① 利用者個々の状態把握、情報共有を徹底し、多職種連携の強化を図り状況に応じた最善のサービス提供ができるよう努めます。
- ② リスクマネジメント体制の強化見直し、業務改善を図り事故防止に努めます。
- ③ 老朽化の進んでいる設備等について計画的更新を進めます。
- ④ 介護ロボットの導入及び活用、新たな介護技術の習得等、環境整備、技術向上を図り職員の負担軽減及び業務の効率化に努めます。
- ⑤ 業務改善委員会（仮称）を立ち上げ現行業務及び業務分担の見直しを実施することで、効率化を進めると共に職員間の業務に対する感覚の誤差を修正し業務の平準化を図ります。

(3) 人材の育成・確保

- ① 法人の求める職員像の明示とともに組織の一員であることの自覚を促し、他職員、他職種の立場を尊重、理解したうえで連携の重要性を理解し発言、行動のできる職員育成に努めます。
- ② キャリア形成による指導者層育成や能力開発を行うため、外部研修への参加、各種教育、研修を実施します。

- ③ 専門性の向上のため、資格取得支援を充実します。
- ④ 企業主導型保育事業「こかの保育園」の運営継続により、子育て世代にとって働きやすい環境を整備することで、人材の確保に努めます。
- ⑤ 持てる能力の最大限発揮が可能となるよう、人材の適材適所配置を推進し、職員のモチベーションアップを図ります。
- ⑥ 職員間ネットワーク、ハローワーク、人材紹介に加え、外国人人材を活用し、事業継続に支障のないよう安定的な人材確保ができる体制構築に努めます。
- ⑦ 外国人人材及び新任職員等への適切な指導育成体制の構築に向け OJT・Off・JT 策定委員会（仮称）を立ち上げ人材育成・確保に努めます。

（４）社会に対する基本姿勢

- ① 地域福祉のニーズに応え、地域社会の福祉課題解決に向けて必要なサービスの創造・提供に努めます。

（５）安定経営に向けた財源確保と財務規律の強化

- ① 目標稼働率 97% として利用者確保に努めます。

1) 特別養護老人ホーム小鹿野苑（ショート含）	平均ベッド稼働数	90床
2) 地域密着型特別養護老人ホーム巨香の郷	平均ベッド稼働数	28床
3) 小規模多機能ホーム巨香の郷	平均登録者数	27名
4) 居宅介護支援事業所巨香の郷	プラン(予防含)作成者	45名
5) デイサービスセンター	平均利用者数	18名
- ② 適正な在庫管理と物品購入を徹底し、無駄な支出を抑制します。
- ③ 適正な人件費管理を行うために、人材確保と並行し業務の見直しを徹底することで無駄な人員配置とならないように努めます。
- ④ 機材の適切な使用、管理、必要なメンテナンス契約を締結する事で、機器類の適切な管理に努めます。不用意な破損等を徹底的に防止することで無駄な修繕費支出を削減します。
- ⑤ 新規加算算定及び現加算算定漏れのないように、算定要件の再確認を行います。

（６）法令遵守等の徹底と組織統治の確立

- ① 高齢者福祉・介護事業体として法令を遵守し、社会的規範やモラル（道徳）を守ります。
- ③ 社会に対して十分な説明責任を果たすため、公正かつ適正な経営を可能とする組織統治を行います。

（７）災害時及び安全対策

- ① 災害時・感染症発生時におけるＢＣＰ（事業継続計画）の見直しを適宜実施すると共に必要な研修を実施します。
- ② 各職員が、他施設の状況や置かれた立場等を客観的に理解・尊重したうえで、適切な判断ができ施設間連携がスムーズに図られるよう体制づくりを進めます。